

項目	説明	
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	強度変調放射線治療における新たな照射精度評価法の開発
	研究目的	IMRT 等の高精度放射線治療は、その治療を安全に実施するために 1~2 週間の準備期間を要します。この準備期間内に個々の患者に最適な線量分布の作成と、その計算された線量分布が予定通りに正確に放射線を照射できるか確認する線量検証が実施されます。一方で、準備期間は病気の進行等を考えると可能な限り短縮される事が望まれます。本研究は、準備期間の短縮化に向け、より効率的な線量検証システムを構築し、その有用性を検証するための研究です。
	研究対象者	2016 年 1 月~2022 年 3 月までに高精度放射線治療 (IMRT、VMAT) を行った患者
	研究期間	西暦 2019 年 8 月 21 日 ~ 西暦 2022 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物 (尿・便) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (治療計画用 CT 画像、 <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録 DICOM データ)	
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	楠 輝文
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	放射線治療品質保証室
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	埼玉医科大学総合医療センター放射線腫瘍科 高橋 健夫 教授